**学外研修報告書**

報告日　　平成　28年　11月　15日

技術センター（医学系部門基礎社会医学班）

技術班長　中谷　宣弘

**題名**解剖・組織技術研究会第14回研修会、

**1.　はじめに（目的等）**

解剖・組織技術研究会は全国の献体処置に携わる職員（主に技術職員）が参集し、業務を行う上での問題点、改善方法について意見交換を行う会である．今回、これに参加することにより、献体処置やそれを取り巻く全国の状況に関する情報を得る事を目的とした。

**2.　期間・場所**

期間：平成28年11月12日

場所：日本女子医科大学（東京都新宿区）

**3.　参加者等**

献体処置に携わる技術員　約40人

1. **研修内容**

午前；研究会総会と全体討論1「遺体引き取り・遺骨返還時のトラブルと対処法」

午後；一般演題2題と全体討論2「感染症対策について」。

**5.　まとめと感想**

広島大学では献体事務に関しては事務方が担当しており、ご遺体の引き取りと遺骨返還についてほとんど携わることがないため，全体討論1では本校に関係ありそうな話題を持ち帰り、事務に報告することとした。一般講演二演題では他校のホルマリン曝露に関する研究や感染防止対策に関する進んだ取り組みが紹介され，非常に参考になった。

全体討論2については観血的作業従事者にとって非常に重要な問題であるため，パネリストの方々の情報をもらさず収集するとともに，本校で危惧されている問題について提起し，他校の方々から色々とアドバイスをいただき，非常に意義のある会となった。

また，私は当会の会計幹事をしているので，会の開催前の打ち合わせ，準備片付けを行うとともに，当日の会場受付も担当した。